

■花房義質 外交官。日清修好条規交渉から駐露特命全權公使まで、維新政府の初期外交を担った。

はなぶさよしとも

天保改革弾圧1842＝ 岡山藩士花房端連の長男に生まれる。

阿部正弘首座1845＝ 3歳：

尊徳報徳論・1851＝ 9歳：

ペリー来航・1853＝11歳：

藩校で四書五經の素読を受け、

のち、蘭書を見玉順蔵に、砲術を水谷亦六郎について学んだ。

桜田門外変・1860＝18歳：

遣欧使節・・1861＝19歳：藩の大坂詰大砲方を命ぜられ、大坂府下の海岸砲台築造のことに与かり、

8月18日政変 1863＝21歳：京都詰を命ぜられ、禁門の守備に任じた。

薩摩藩士密航1865＝23歳： 条約勅許・兵庫開港を諮詞する会議に列し、勤王諸藩を召集して大いに衆議を尽くし、政綱の統一を計り大局を定むべきを極論した。

大政奉還・・1867＝25歳： 藩公の内意に基づき外遊し、香港・印度の諸港を経て、仏英米各国を視察し、

明治維新・・1868＝26歳： 帰国。

戊辰戦争終・1869＝27歳： *維新後、外国官御用掛となり、外務省の創立で外務大録に任ぜられ、

初の日刊新聞1870＝28歳： 外務権少丞。柳原前光外務権大丞に随行して清国に赴き、日清修好条規締結交渉にあたり、

廃藩置県・・1871＝29歳： 外務少丞。沢宣嘉外務卿に随行して再び清国に赴き、同交渉を続け、

学問のすすめ1872＝30歳： *外務大丞に累進、対馬と釜山に赴き、朝鮮国との修交に努める。

明治6年政変 1873＝31歳： 、「マリアルス号事件」に係る仲裁裁判のため、露都に赴き、

西南戦争・・1877＝35歳： 代理公使に任ぜられ、日朝修好条規第五款に規定された釜山以外の2港の開港につき、以後交渉を継続。

大久保暗殺・1878＝36歳：

琉球処分・・1879＝37歳： 弁理公使として、朝鮮国京城在勤を命ぜられ、

明治14年政変1881＝39歳：

新体詩抄・・1882＝40歳： 、「壬午の変」に際会、済物浦条約を締結ののち、帰国した。

岩倉具視没・1883＝41歳： *特命全權公使として露国在勤を命ぜられ、

帝国大学始・1886＝44歳： *帰国。以後は外交から離れ、

国民之友始・1887＝45歳： 農商務次官、

初の対等条約1888＝46歳： 宮中顧問官、

帝国憲法發布1889＝47歳：

足尾鉾毒始・1891＝49歳： 宮内次官、

日清戦争始・1894＝52歳： 日本赤十字社副社長となり、

白馬会・・・1896＝54歳： 男爵に叙せられた。

日露戦争終・1905＝63歳：

韓国反日暴動1907＝65歳： 子爵、

大逆事件判決1911＝69歳： 枢密顧問官に親任され、日本赤十字社社長となった。

明治天皇没・1912＝70歳：

第一次大戦始1914＝72歳：

ロシア革命・1917＝75歳： 没した。